

大泉特養便り第244号

大泉特別養護老人ホーム 電話 03-5387-2201

令和6年11月8日発行 編集：津波古

10月20日(日)に

ファッションの秋！ 衣類の出張販売会

買い物イベントを開催しました！



秋冬の衣類を千点以上ご用意し、家族と一緒に選ぶ楽しみや喜びを感じていただけたようで、大好評でした！

共催：シニアリンクコミュニケーション(株)



駐車禁止 工事期間中は、ご家族、代理人による車の駐車は施設に出来かねます。

車でお越しの際には、近隣のコインパーキング等を利用ください。よろしくお願いいたします。

虐待防止・身体拘束等適正化委員会から

今年度、大泉特養では[ユマニチュードケア]という認知症ケアの技術を基とした、接遇の向上に努めています。

ユマニチュードケアでは、ご本人の同意を得ないまま行うケアをゼロにすることを目指しています。時間に追われる介護の現場ではなかなか難しく、最初は大変かもしれませんが、この技法はケアを受ける人だけでなく、ケアをする人も「よかった」と満足できるように支えることを目標としています。

今回は、具体的な接遇方法の一部を紹介いたします！



認知症の方を驚かせないために正面から近づき、視線を合わせます。目が合ったらすぐ(2秒以内)に、ポジティブな言葉で話しかけます。

お風呂に行きましょう」という言葉に限らず、「さっぱりしましょうか」と言いかえるなど、相手が受け入れやすい言葉で伝える配慮をしましょう。



まずは‘あなたに会いに来た’‘あなたと話をしに来た’というメッセージを伝えます。ご本人の同意を得られるまでケアの話をしていないことが重要です。



3分以内に合意が得られないと判断した場合は、ご本人の意思を尊重しいったんその場を離れ時間を空けてから、再度お声掛けをします。



これらの接遇方法を活用して日々の介助を提供しております。
お客様やご家族の皆様にとっても、働く私たちにとっても穏やかな笑顔を生み出せる介護現場にしたいと考えています。

